

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 672 号
 2017年6月1日
 発行
 アスカ工業株式会社
 〒444-0303
 西尾市中畑町卯新田上28

2016年度

アルミニウム2次地金・合金生産

プラス2.2%

一般社団法人日本アルミニウム合金協会はこのほど2016年度(2016年4月～2017年3月)のアルミニウム2次地金と同合金の生産と出荷の実績を発表した。

これによれば、生産は792,877トンで前年度に比べて2.2%増加し、出荷は801,428トンで同じく2.0%増加した。

生産の80万トン割れは、東日本大震災とタイの大洪水の影響で需要の急減に直面した2011年度以降2015年度がはじめてだったが、2016年度は2.2%増加したものの80万トンに届かなかった。

産業部門別出荷では、自動車の国内生産と海外組立用パーツ輸出が好調であったことから主力のダイカストの需要が好調を維持して、全体の出荷量を押し上

げた。

飲料用缶の需要は、コーヒー用缶の需要増加がピークアウトしてマイナスに転じた。

鉄鋼脱酸用は鉄鋼生産の好調の影響を受け、大きな増加を示した。

押し出しは住宅建築が前年度の好調から一転、辛うじてプラスに留まる横這い状態を示した。

2016年度も、前年度につづいて中国産の2次合金地金の流入による国産2次地金市場への圧力が影響したことも、業界悲願の80万トン生産に届かなかった主因と考えられる。

2017年度は、需要業界が活発な生産活動を示していることから堅実な成長が期待されている。

アルミ2次地金・合金の生産と出荷

		2014年度	2015年度	2016年度
総	生産量	814,670 (-3.1)	776,115 (-4.7)	792,877 (+2.2)
総	出荷量	826,050 (-2.9)	785,920 (-4.9)	801,428 (+2.0)
部 門 別 出 荷 量	ダイカスト	459,199 (-2.5)	440,900 (-4.0)	456,391 (+3.5)
	鋳物	212,255 (-4.9)	196,614 (-7.4)	196,489 (-0.1)
	圧延	58,209 (-0.6)	56,798 (-2.4)	53,257 (-6.2)
	押出	20,696 (-7.9)	22,649 (+9.4)	22,744 (+0.4)
	鉄鋼	46,558 (+5.4)	39,946 (-14.2)	42,288 (+5.9)
	合金メーカー向	28,926 (-7.8)	28,601 (-1.1)	28,436 (-0.6)

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

日本アルミニウム合金協会 定 時 総 会 開 催

5 月 1 8 日 ・ 東 京

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月18日東京虎ノ門の霞山会館で第43回定時総会を開催した。役員の変更で次の諸氏が新役員に選任された。

会 長 浜村承三氏（日軽エムシーアルミ）

副会長 北山 悟氏（エスエスアルミ）

副会長 山本隆章氏（大紀アルミ）

副会長 上田雄三氏（福岡アルミ）

総会の席上、平成28年度の決算と平成29年度の予算が承認された。

総会のあと、関係者110人が参加して懇親会が開催され、冒頭で浜村会長が次のように挨拶した。

自動車生産の水準が高いことで業界の環境は大そう明るい。

一方、アルミニウム・スクラップの海外流出増加の傾向や、製品の輸入圧力の問題がある。業界の総智・総力を結集したい。

総会の席上、高橋記念賞と3級溶解技能者検定試験合格者が発表された。

高橋記念賞・3級認定試験

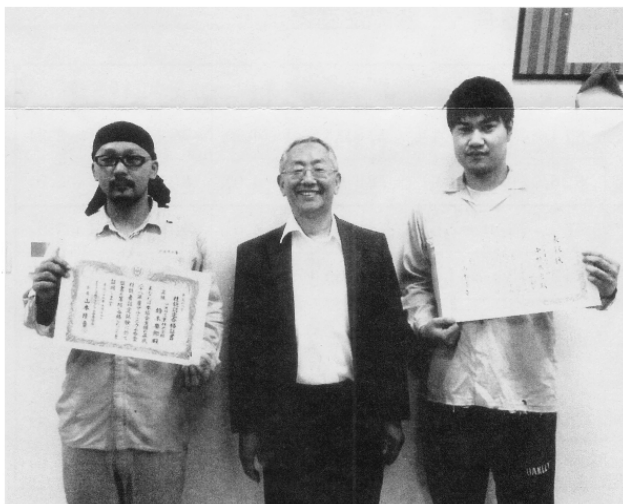
故高橋愛次氏（株式会社アーレスティの創業社長）のご遺志によって創立された業界で最も由緒ある賞で昭和54年（1979年）6月第1回が発足した。

アルミニウム合金地金・2次地金製造の技術向上、合理化などに創意工夫を通じて功労のあった現場の技術者に与えられる。

本年度はアスカ工業株式会社から中野恭宏君を推薦、目出度く受賞した。中野君は溶解担当として活躍、社員の信頼も厚く今回の受賞が決まった。

3級溶解技能者認定試験は、一般社団法人日本アルミニウム合金協会が技術の進歩に即応できる知識と技能の向上をはかる目的で、3ヶ月の通信教育を受けた者で所定の試験に合格した従業員が認定を受ける。

平成28年度3級溶解技能者の認定試験に、アスカ工業株式会社から鈴木要郎君が挑戦、この度の総会の席上合格証が授与された。



おめでとう

左から

鈴木要郎君

天野卓社長

中野恭宏君

3月生産

アルミ 鋳物
ダイカスト 好調

経済産業省がこのほど発表した3月の生産動態調査によると、アルミニウム鋳物、アルミニウムダイカスト共に8ヶ月連続して前年実績を上回った好調な生産実績を示した。

特にダイカストは2014年7月以来2年8ヶ月ぶりに9万トンの大台を回復した。自動車生産の好調維持が大いに期待されている。

三月アルミ鋳物・ダイカスト生産 (単位:トン・前年比%)	①アルミ鋳物	39,635	(104.5)
	②一般機械	739	(104.7)
	③輸送機械	38,003	(104.7)
	④その他	893	(95.1)
	⑤アルミ・ダイカスト	90,770	(103.8)
	⑥一般機械	2,650	(117.9)
	⑦電気機械	1,473	(101.6)
	⑧自動車	81,232	(103.4)
	⑨二輪車	2,538	(109.3)
	⑩その他	2,877	(100.4)

磯貝定夫君送別会
栢植茂雄君祝賀会

磯貝定夫君(生産部)は勤続50年、温厚な人柄を惜しまれつつこのほど引退、4月30日レストラン・サカエに於いて盛大な送別会が催された。

定年後も健康にめぐまれ、永く後輩の育成に努力した功績は全社員の感謝するところである。

栢植茂雄君(営業部)はこのほど還暦を迎え、「焼肉・楽しいら」で、5月19日還暦祝賀会を迎え11名が還暦を祝った(写真・右)。

栢植君は原料部門のベテラン、今後も健康で後輩育成の努力が期待される。



アルミ缶リサイクル協会からのお願い

●タブは缶から外さずいっしょにリサイクル

アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

●ボトル缶のキャップの取扱

飲料用もアルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえで、キャップを軽く絞めて回収してください。

●アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸い殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。





6月4日源徳寺 仁吉まつり

義理と人情の世界に生きた男、吉良の仁吉をしのぶ「仁吉まつり」が6月4日（日曜日）西尾市吉良町上横須賀の源徳寺で催される。吉良首領の総おどり大会はじめ地元物産展など多くのイベントが企画されている。

吉良の仁吉は江戸末期、伊勢の荒神山の決闘で穴太徳（あろうとく）と戦い、勝利を収めたものの銃弾を受けて死亡、28才であった。

多勢に無勢の不利の戦いをあえて買って出た背景は、一宿一飯の恩人神戸（かんべ）の長吉への熱い仁侠の心意気と伝えられ、源徳寺の墓は清水の次郎長により建立された。

源徳寺は名鉄西尾線上横須賀（かみやこすか）下車徒歩数分。左の立像は吉良図書館所蔵の吉良の仁吉。

社内情報

- ◎高橋記念賞の中野恭宏君、3級溶解技能者認定合格の鈴木要郎君おめでとう。全社員が今後の活躍を大いに期待しています。
- ◎4月の生産は、単月記録を更新、4月単月の最高生産をマークしました。ご関係先各位の大きなご支援に深謝申し上げます。
- ◎天野卓社長は日本アルミニウム合金協会総会で常任理事に再任いたしました。

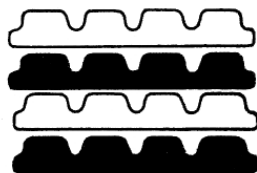
編集後記

- アルミニウム合金・2次地金の昨年度の生産は業界悲願の80万トンに僅かに届きませんでした。
- 本年度は自動車生産の好調に支援されて80万トンの大台乗せをぜひ実現したいものです。
- アメリカのトランプ大統領の選挙スローガンでは、貿易政策に大きな保守政策を打ち出していて心配しましたが、現状のところで大変革は打ち出されません。果たして今度どのように展開するか、要注意です。

アルミ缶リサイクルング 铸造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>